

【24秒オペレーター】

- 次のとき、24秒計を動かし始める。
 - (1) チームがボールをあらたにコントロールしたときは、そのチームのプレイヤーがコート内でボールをコントロールしたとき（ボールに触っただけではコントロールしたとは限らない）
 - (2) スローインのときは、スローインされたボールがコート内のプレイヤーに触れたとき
- 笛がなったら24秒計をストップする（リセットボタンは押さない）。ファールやトラベリングなどのバイオレーションであればその後リセットするが、相手チームによるカットボールのスローインで引き続き同じチームがスローインする場合にはリセットしないで引き続き残り時間をはかる。
- シュートがあったときには、ボールがバックボードにあたってネットに触れても24秒を計りつづけて一切操作しない。リングにあたった時のみリセットする。その後リバウンドのボールが空中にある間やリバウンドボールを両チームが取り合っている間は24秒計のリセットボタンを押し続け、表示しない。どちらかのチームがボールを確実にコントロールした瞬間から新たな24秒を計り始める。
- ジャンプボールシチュエーションになって、引き続き同じチームがスローインするときは、リセットせずに継続して残り時間を計る。
- 相手チームのファール、バイオレーションで、それまでボールをコントロールしていたチームに引き続きスローインが与えられ、そのチームのフロントコートからのスローインで再開されるときは、
 - (1) 24秒計の表示が、残り14秒以上であるときには、24秒計を止めるがリセットしない。
 - (2) 24秒計の表示が、残り13秒以下であるときには、24秒計は14秒にリセットする。
- 相手チームがボールを奪ってコントロールした時はただちにリセットして24秒を動かし始める。
- 審判が人差し指を立てて回す合図をした時には、24秒計をリセットする。
- ボールを新たにコントロールした時点で、各ピリオドの残り時間が24秒未満だった場合は24秒計を消して何も表示しない
- 24秒ルール： フィールド・ゴールあるいは最後のフリースローのボールがリングに触れたのち、シューター側チームのプレイヤーがそのリバウンドのボールを取った場合は、24秒計は14秒からはかり始められることになる。
(連盟HP資料より)

【指導にあたって】

- しっかりとルールを理解させたい。
- ボールがコントロールされたところからスタートになるので、早めたり、遅かったりしないよう心がけたい。
- アウトオブバウンズ、ファールがあった際に、あせってリセットをしてしまいがちなので、必ず何が起こったのか確認するまでは、計時をストップするだけにし、状況を確認後、リセットなのか、14秒に戻すのか、継続なのかの正しい処置を行う。

【メモ欄】